

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)								
市町村名	栄村～野沢温泉村		ふりがな箇所名	(一) 眞作飯山線 眞作～明石			事業年度(完了年度は見込み)	年度～		年度							
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1,962m W=5.5(7.0)m (うち橋梁 L=360m)					H22年度末事業進捗率	0%									
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%									
	H23年度実施内容						用地補償費ベース	0%									
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残							
	事業費計(千円)	2,500,000		0		0		0		2,500,000							
財源内訳	国庫支出金	1,375,000		0		0		0		1,375,000							
	その他																
	県債	787,500		0		0		0		787,500							
	一般財源	337,500		0		0		0		337,500							
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課						
									ランク	評点	ランク	評点					
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上～10,000台/日未満		1,500台未満		A	2	A	2				
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある								2	2		
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない								5	5
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない									
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない										2	2
			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)			5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)									
		歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し		4							4	
	小計							23		23							
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		B	6	B	6				
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない						2	2		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域に位置付けられている		特別な位置づけはない								3	3
		小計							11								
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		A	6	A	6				
		事業効果の早期発現(H22以降残事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年～10年未満		事業年数 10年以上						3	3		
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない								4	4
		小計							13					13			
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		B	5	B	5				
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない						0	0		
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路								9	9
	小計							14		14							
	計画 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	6	B	6				
事業情報の共有		関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない		3					3			
住民参加の状況		住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない								4	4	
小計							13		13								
費用対効果(B/C)		2.1			評価の合計				B	74	B	74					
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本線は栄村眞作と飯山市戸狩を結ぶ延長約20kmの路線であるが、眞作～野沢温泉村明石に約2kmの交通不能区間があり、この区間を結ぶ唯一の迂回ルートが第1次緊急輸送路の国道117号である。しかし、雪特地域であることも重なり冬期間は大型車等の事故が常習化している上、災害および冬期豪雪等国道117号通行止の際には、飯山市を含む北信地域と栄村を結ぶ路線がなくなり、集落が孤立化しているため、交通不能区間を早期に解消し、代替道路機能を整備することで民生安定を図る。															
	地域からの要望経緯	毎年栄村、野沢温泉村及び期成同盟会より、非常に強い早期整備の要望があり、地域住民の嘆願である。															
	事業説明等の経緯	S44年に測量実施の経緯があり、一部用地買収した経緯から地元へ周知されている。また、H13～17の概略～予備修正設計成果を村役場へ説明しており、H19の概略修正設計成果は、H19.7.12、H20.6.11、20.7.14、17.10.3、7、H21.8.26他数回、役場、村議、関係区長及び期成同盟会に、各地元住民へはH20.11.26、27、12.19、H21.2.24にル-ト説明を実施している。H21.9.14の地元説明会においてル-トの了解を得る。															
	環境・景観への配慮項目	構造物でなく土羽構造により緑化を図ることで環境へ配慮するとともに、極力立木を伐採しない方針で計画を立案したい。															
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。															
特記事項	緊急輸送路ではないが、緊急輸送路(1次)の唯一の迂回路である。また、栄村直近の県内総合病院は飯山赤十字病院であり、国道117号通行止の際には緊急路がなくなる。今後、地元意見を聞きながらル-ト選定等事業を進めていきたい。																
地域の合意形成	全員賛成			概ね賛成			過半数賛成			動向不明		その他					
部意見	必要性、効率性の評価レベルは高い。今後計画熟度を高め、事業化を検討したい。					政策評価課			意見								
必要性は認められる。																	